



ProQuest 日本支社・株式会社紀伊國屋書店 共催

Early English Books Online (EEBO)

初期英語書籍集成データベース

NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアム成立 東京特別イベント開催

日 時： 2016年10月5日(水) 13:00 - 17:00 (予定)

会 場： 一橋大学一橋講堂 中会議場1

(東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 / 神保町駅 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b出口) 徒歩4分)

参加費： 無 料

ご機関名 部署名	
お名前	様
当日の 参加人数	名様 上にご記入の方以外に参加される方がいらっしゃる場合、 合計人数をご記入ください。
E-mail	
Tel	
ご要望等があればご記入ください。	

お申し込み・お問い合わせは



株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 雑誌・電子商品課

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3丁目7番10号

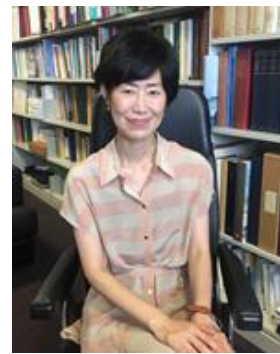
電話 03-6910-0518 FAX 03-6420-1359 e-mail:online@kinokuniya.co.jp

もしくは最寄の営業部・営業所、営業担当者までお申し付けください。

基調講演「EEBO がもたらす情報革命／デジタル・デバイド」

慶應義塾大学文学部 徳永聡子 准教授

(講演要旨) 歴史的視座を踏まえた研究では、分野を問わず、原資料にあたるのがしばしば求められる。デジタル技術の普及前、研究者が資料収集時に頼りにしたのはマイクロフィルムであった。EEBOの前身、STCやWingのマイクロフィルム・セットもそうした資料群の一つである。黙々とマイクロフィルム・リーダーを回し、目的の文献コピーを入手するのは骨の折れる作業である。だが、復刻版といえども膨大な貴重資料にアクセスできることは、充実した研究環境とされていた。



それを覆したのが、1990年代末に登場したEEBOである。貴重書デジタル化の揺籃期だった当時、キーボードを叩くだけで、瞬時にして書物画像が現れるのは衝撃だった。もはやパソコンとインターネット、そして(肝心の)EEBOへのアクセス権があれば、フィルム・リーダーと格闘する必要もない。しかも横断検索ができるので、複領域にわたる資料探しも容易である。マイクロフィルムに比べて、画像取得にかかる時間は大幅に短縮し、得られる情報量は膨大、未知でさえある。その一方、確認すべき資料対象は確実に広がった。英米では、初期の頃から多くの研究機関で導入が進んだ。このため留学先で享受できたものの、帰国後、研究手法を変更せざるをえなかったケースも少なくないと思われる。

いま注目を集めているのは、初期刊本のデータマイニングを可能にしたEEBO-TCPである。EEBOに収録された15～17世紀刊本の本文を転写し、そこにXML形式のタグを付与することで、多様な演算子での全文検索を実現した。人文社会学の研究に新機軸をもたらしたといっても過言ではない。“The Linguistic DNA”など、EEBO-TCPを援用したデジタル化プロジェクトが開発し、デジタル・ヒューマニティズの国際学会でも話題となっている。EEBO-TCPを活用した研究や教育が標準となるのは、もはや時間の問題であろう。

本講演では上記を踏まえ、EEBOならびにEEBO-TCPとは何か、その歴史的背景をひもとき、利用者の視点からみたインタフェースの実際やデジタル・ツールとしての活用法、各国での最新の取り組みについて事例とともに話したい。EEBO/EEBO-TCPの限界や留意点を指摘する声もある。だが、クリティカル・レビューがなされること自体、このデータベースの影響力を示唆しているかもしれない。講演者が専門とする英文学を軸に、国際的な研究動向をたどる中、国内の研究機関へ導入する意義を示せればと思う。

[プロフィール] 慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程修了(PhD)。中世英文学、書誌学、書物史を専門とし、写本から印刷本への移行期(15世紀～16世紀前半)における英国の書物生産と作品受容を中心に研究している。とくに現在は、初期刊本の書誌情報と画像を格納・横断検索するためのデータベースの構築や、中世英文学作品の校訂版作成を共同研究で進めている。英国ケンブリッジ大学コーパス・クリスティ・コレッジ客員研究員(2010-11)、英国書誌学会(The Bibliographical Society) Katharine F. Pantzer Jr Research Scholarship 共同受賞(2011)、米国ハンティントン図書館 Gilbert and Ursula Farfel Fellow(2012)など。[主要な業績] ‘Wynkyn de Worde and a Lost Manuscript of the Canterbury Tales: With New Light on HRC MS 46’, The Chaucer Review (2015); Incunabula on the Move: The Production, Circulation and Collection of Early Printed Books (2014), ed. by Ed Potten and Satoko Tokunaga; 『出版文化史の東西—原本を読む楽しみ』徳永聡子編(慶應義塾大学出版会、2015); ロッテ・ヘリング著『初期イングランド印刷史—キャクストンと後継者たち』徳永聡子訳・高宮利行監修(雄松堂書店、2013); 迫桂・徳永聡子『英語論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会、2012)など。



講演1 「NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアムについて」

国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長 細川 聖二 氏

日本の学術研究の振興を目的に、国立情報学研究所(NII)と大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)が共同で電子コレクションの整備に取り組むジョイントプロジェクトに、この度ProQuestのEEBOが採択されました。NIIよりコンソーシアムの意義と見通しをご講演頂きます。



講演2 「Jisc(英国情報システム合同委員会)ケーススタディ」

Farhana Hoque, ProQuest Product Manager Sr.

ProQuest社英国の電子アーカイブ担当者より、Jiscと共同で行われた英国における電子アーカイブ利用調査の最新事情をご紹介します。(通訳付)

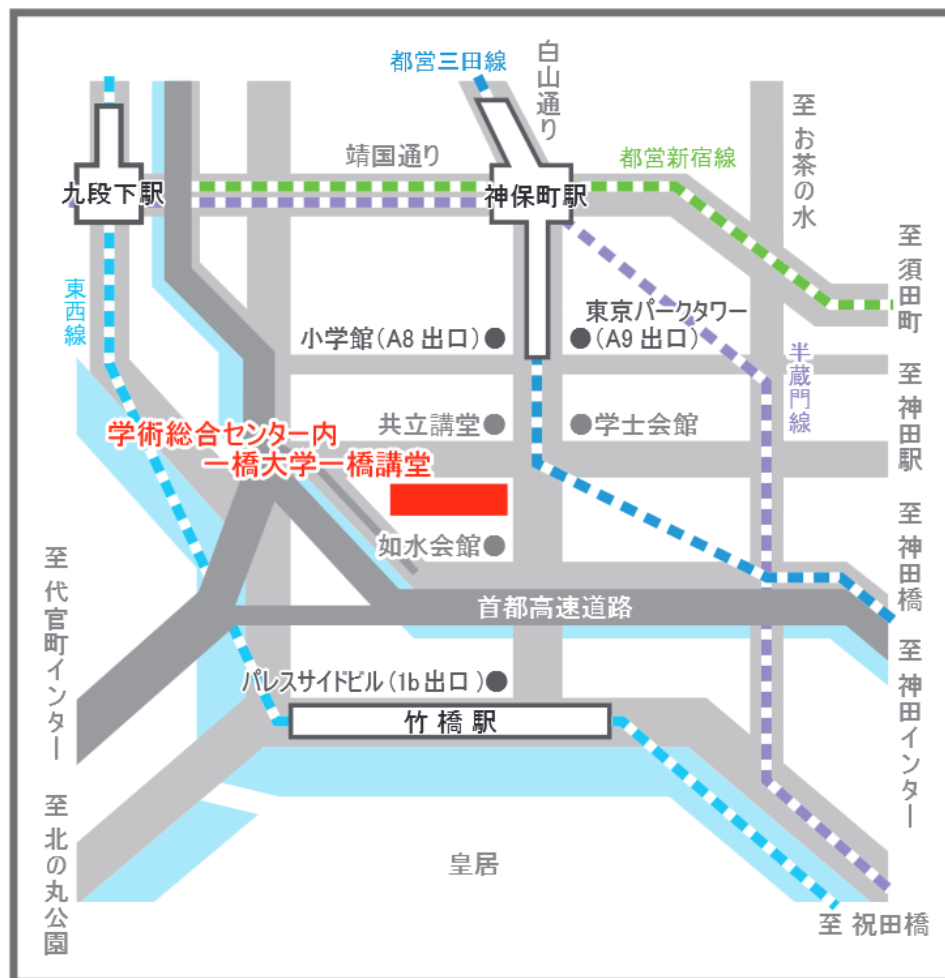
会場アクセス情報

一橋大学一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

学術総合センター内

http://www.hit-u.ac.jp/hall/file/menu-016/file_01.pdf



- 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線：神保町(A9 出口) 徒歩 4 分
- 東京メトロ東西線：竹橋駅(1b 出口) 徒歩 4 分

Early English Books Online NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアムについて

Early English Books Online (EEBO)は、17 世紀以前の英国の印刷刊行物を網羅的に収録するデータベースです。このたび EEBO は、人文社会科学研究に必須の重要資料として国立情報学研究所(NII)の人文社会科学系電子コレクションに採択され、NII が運用する電子リソースリポジトリ、NII-REO に搭載されることとなりました。コンソーシアム期間中は、JUSTICE 会員館様向けに、NII-REO の EEBO への永続的なアクセス権を大幅割引の特別価格でご案内します。貴学の研究・教育環境の向上に資する資料として、ぜひ EEBO をご導入ください。